

2026年3月4日

消化器内科の外来診療を受けられた患者さんへ

## 「活動期潰瘍性大腸炎に対する外来経口ステロイド療法の治療効果の検討：多施設共同後ろ向き研究」への協力をお願い

消化器内科では、多機関共同で下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2015年1月1日から2025年12月31日の間に、当科の外来で経口プレドニゾンまたは経口ブデソニド腸溶性徐放錠の初回治療を受けた潰瘍性大腸炎患者さん

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2028年3月31日

研究目的・利用方法：

外来で経口プレドニゾンまたはブデソニド腸溶性徐放錠にて加療した潰瘍性大腸炎患者さんの治療効果を検討します。治療効果を比較することで今後の薬剤選択に役立つと考えています。

研究に用いる情報の項目：

患者さんの以下の項目について、診療録より取得します。これらはすべて日常診療で実施された項目です。

検査・評価項目

性別、年齢、併存疾患、病型、罹病期間、喫煙歴、腸管外合併症の有無、難治性（ステロイド依存、抵抗）、併用薬、治療歴

一般身体所見：身長、体重、BMI

化学検査：アルブミン、CRP、LRG、白血球数、ヘモグロビン、血小、ACTH、コルチゾール

糞便検査：便中カルプロテクチン

臨床症状

内視鏡検査所見

臨床経過

有害事象

研究に用いる情報の利用を開始する予定日：2026年3月6日

情報の提供について：

情報の取り扱い：パスワードロックのかかるUSBを用いて各共同研究機関から情報が研究代表機関に集積され、研究に利用します。代表機関から外部への提供はありません。

## 研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としますので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、代表機関である岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において一括審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。各共同研究機関においても、研究機関の長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

## 研究代表者

岐阜大学医学部附属地域医療医学センター  
電話番号: 058-230-6308  
氏名: 小島健太郎

## 研究責任者

岐阜大学医学部附属地域医療医学センター  
氏名: 小島健太郎

## 共同研究機関等:

【共同研究機関の研究責任者】

岐阜県総合医療センター 消化器内視鏡科部長 山崎健路

## 情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名

岐阜県総合医療センター 理事長兼院長 桑原尚志

## 連絡先

岐阜大学医学部附属地域医療医学センター  
電話番号: 058-230-6308  
氏名: 小島健太郎

## 【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係  
〒501-1194  
岐阜県岐阜市柳戸1番1  
Tel: 058-230-6059  
E-mail: rinri@t.gifu-u.ac.jp